

## 日本労働年鑑 第55集 1985年版

The Labour Year Book of Japan 1985

## 第二部 労働運動

## II 労働組合の大会

## 3 中立労連、新産別、総連合、全民労協、金属労協、統一労組懇の大会

## 3 総連合第六回総会

全国労働組合総連合(総連合)は、第六回総会を、八三年一月一五日、東京・電機労連会館で開催し、八四年度運動方針案を原案どおり決定した。総会であいさつした豎山議長は、「官民の全的統一と地方組織問題を残して、総連合結成の目的はほぼ果たしたが、今後も必要に応じて役割を果たすため、機能は残したい」と述べた。運動方針では、「今後の活動について、民間先行による統一にむけて果たしてきた総連合の使命と責任を自覚し、全的統一のためのあらゆる努力をすすめる。とくに、公共部門の統一にむけて話し合いの場の設定、共同行動の実現などを各団体に呼びかけていく」と主張しているが、全民労協が発足してからの一年間は、総連合の活動は事実上なかったといえる。当面、具体的行動の必要性がないとみられるが、総評と同盟間の調整の必要性を考え、機構は残しておくこととなった。なお、総連合の今後については、中立労連、新産別、参加組織間で話し合いをすすめるとされた。ただし、予算面では活動を縮小するため、今年度の分担金徴収をゼロとし、前期繰越金だけで運営することを決定した。また、役員改選では、豎山議長、藁科事務局長を再任した。

日本労働年鑑 第55集 1985年版

発行 1984年12月15日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年8月21日公開開始

■←前のページ 日本労働年鑑 1985年版(第55集)【目次】次のページ→■  
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)